

平成30年 3 月 9 日（金曜日）

第 8 号

## 平成30年第1回北海道議会定例会会議録

## 第8号

平成30年3月9日（金曜日）

議事日程 第8号

3月9日午後3時開議

日程第1、議案第99号及び第101号ないし第115号

○本日の会議に付した案件

1. 日程第1

1. 休会の決定

出席議員（96人）

議長 101番 大谷 亨 君

副議長 70番 勝部 賢 志 君

2番 阿知良 寛 美 君

3番 浅野 貴 博 君

4番 安住 太 伸 君

5番 池 端 英 昭 君

6番 川 澄 宗之介 君

7番 小 岩 均 君

8番 内 田 尊 之 君

9番 大 越 農 子 君

10番 太 田 憲 之 君

11番 加 藤 貴 弘 君

12番 久保秋 雄 太 君

13番 清 水 拓 也 君

14番 千 葉 英 也 君

15番 塚 本 敏 一 君

16番 道 見 泰 憲 君

17番 船 橋 賢 二 君

18番 丸 岩 浩 二 君

19番 梅 尾 要 一 君

20番 菅 原 和 忠 君

21番 中 川 浩 利 君

22番 畠 山 みのり 君

23番 藤 川 雅 司 君

24番 白 川 祥 二 君

25番 新 沼 透 君

26番 赤 根 広 介 君

27番 田 中 英 樹 君

28番 中野渡 志 穂 君

29番 佐 野 弘 美 君

30番 宮 川 潤 君

31番 荒 当 聖 吾 君

32番 安 藤 邦 夫 君

33番 山 崎 泉 君

34番 佐 藤 伸 弥 君

35番 沖 田 清 志 君

36番 笹 田 浩 君

37番 松 山 丈 史 君

38番 市 橋 修 治 君

39番 稲 村 久 男 君

40番 梶 谷 大 志 君

41番 笠 井 龍 司 君

42番 中 野 秀 敏 君

43番 野 原 薫 君

44番 花 崎 勝 君

45番 三 好 雅 君

46番 村 木 中 君

47番 吉 川 隆 雅 君

48番 吉 田 祐 樹 君

49番 佐々木 俊 雄 君

50番 田 中 芳 憲 君

51番	富原亮君	88番	岩本剛人君
52番	八田盛茂君	89番	遠藤連君
53番	松浦宗信君	91番	加藤礼一君
54番	東国幹君	92番	喜多龍一君
55番	内海英徳君	94番	本間勲君
56番	大崎誠子君	95番	伊藤条一君
57番	小畑保則君	96番	川尻秀之君
58番	角谷隆司君	98番	神戸典臣君
59番	小松茂君	99番	高橋文明君
60番	千葉英守君	100番	和田敬友君
61番	長尾信秀君	欠席議員(3人)	
62番	中司哲雄君	1番	菊地葉子君
63番	藤沢澄雄君	90番	布川義治君
64番	村田憲俊君	93番	竹内英順君
65番	北口雄幸君	欠員(2人)	
66番	小林郁子君	69番	
67番	橋本豊行君	97番	
68番	広田まゆみ君	<hr/>	
71番	中山智康君	出席説明員	
72番	大河昭彦君	知事	高橋はるみ君
73番	志賀谷隆君	副知事	山谷吉宏君
74番	吉井透君	同	辻泰弘君
75番	真下紀子君	同	窪田毅君
76番	森成之君	公営企業管理者	浦本元人君
77番	金岩武吉君	病院事業管理者	鈴木信寛君
78番	池本柳次君	総務部長	
79番	滝口信喜君	兼北方領土対策部長	中野祐介君
80番	須田靖子君	本部長	
81番	高橋亨君	総務部職員監	梅田禎氏君
82番	佐々木恵美子君	総務部危機管理監	橋本彰人君
83番	三井あき子君	総合政策部長	佐藤嘉大君
84番	星野高志君	総合政策部監	
85番	三津丈夫君	交通企画監	黒田敏之君
86番	平出陽子君	総合政策部監	
87番	吉田正人君	空港戦略推進監	藪紀洋君
		環境生活部長	小玉俊宏君

保健福祉部長 佐藤 敏 君  
保健福祉部  
少子高齢化対策監 佐藤 和彦 君  
経済部長 阿部 啓二 君  
経済部観光振興監 木本 晃 君  
経済部食産業振興監 田辺 利信 君  
農政部長 小野塚 修一 君  
農政部長  
食の安全推進監 森田 良二 君  
水産林務部長 幡宮 輝雄 君  
建設部長 渡邊 直樹 君  
建設部建築企画監 須田 敏則 君  
会計管理者  
兼出納局長 辺見 広幸 君  
企業局長 山岡 庸邦 君  
道立病院部長 田中 宏之 君  
財政局長 森 隆司 君  
財政課長 猪鼻 信雄 君  
秘書課長 三橋 剛 君

選挙管理委員会  
事務局 長 清水 敬二 君

人事委員会  
事務局 長 岡田 恭一 君

警察本部長 和田 昭夫 君  
総務部長 池田 康則 君  
総務部参事官  
兼総務課長 尾辻 英一 君

労働委員会  
事務局 長 中川 淳二 君

代表監査委員 東 陽一 君  
監査委員事務局 長 河治 勝彦 君

収用委員会  
事務局 長 鳴海 正一 君

議会事務局職員出席者

事務局 長 赤石 剛司 君  
議事課 長 小山 志津生 君  
議事課主幹 本間 治 君  
議事課主査 中澤 正和 君  
議事課主任 林 幸雄 君  
同 小倉 拓也 君

午後 3 時 開議

○議長大谷亨君 これより本日の会議を開きます。  
報告をさせます。

〔小山議事課長朗読〕

1. 予算特別委員会の

委員長に 富原 亮 委員  
副委員長に 橋本 豊行 委員

をそれぞれ選任した旨報告がありました。

---

1. 予算特別委員長及び保健福祉委員長から、議案審査の結果について報告がありました。

（上の委員会審査報告書一覧は巻末**議案の部**に掲載する）

---

1. 本日の会議録署名議員は、

吉川隆雅 議員

吉田祐樹 議員

佐々木俊雄 議員

であります。

---

### 1. 日程第1、議案第99号及び第101号ないし第115号

○議長大谷亨君 日程第1、議案第99号及び第101号ないし第115号を議題といたします。

本件に関し、順次、委員長の報告を求めます。

予算特別委員長富原亮君。

#### 1. 議案第99号及び第101号ないし第114号に関する報告

○51番富原亮君（登壇・拍手）私は、予算特別委員会に付託されました議案のうち、ただいま議題となりました議案第99号及び第101号ないし第114号につきまして、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は3月8日に設置され、平成30年度各会計予算18件及び関連議案5件、並びに平成29年度各会計補正予算14件及び関連議案1件の計38件が付託された次第であります。

本委員会といたしましては、同日、直ちに正・副委員長の互選を行うとともに、議案審査の方法などについて協議いたしました結果、ただいま議題となっております平成29年度各会計補正予算等につきましては、年度末も切迫しておりますことから、これを先議することに決定し、本日、委員会を開き審査を行った次第であります。

審査における論議の概要を申し上げますと、

道路除雪経費に関し、今月1日から2日にかけての暴風雪災害における通行どめの判断や道民への情報提供などの具体的な対応、執行状況及び今後の執行見込みと財源確保に向けた取り組みについて。

災害復旧関連事業費に関し、土木災害復旧費の減額の要因と復旧整備の進捗状況について。

中小企業総合振興資金貸付金に関し、近年の制度融資の利用実績と融資残高減少の要因、制度融資の見直しに向けた今後の対応について。

地域医療介護総合確保基金に関し、多額の不用額が生じた理由と計画的な事業の推進に向けた今後の対応について。

保健福祉関係の義務的経費に関し、減額補正の要因と予算積算に当たっての今後の対応につい

て。

財政運営に関し、個人道民税等収入の増額及び法人事業税収入の減額の要因への認識、財政調整基金の確保に向けた取り組み、繰り上げ償還など実質公債費比率の改善に向けた取り組みについて。

財政運営に関し、財政調整基金に依存した財政運営手法に対する認識、積立財源の捻出手法と当初予算編成における歳入歳出の過大過小な見込みの有無、今年度の道債発行金利の実績と昨年度よりも道債償還費の減額幅が縮小した理由、減債基金の積み上げ方法と活用の考え方及び繰り上げ償還の今後の財政運営への影響、財務体質の改善に向けた取り組みについて。

公共事業等の繰越明許費に関し、多額の繰越明許に対する認識と、受け手や工物品質の確保など事業執行における問題への認識について。

保健福祉関係義務費に関し、減額となった要因と当初予算の積算見直しなどについて。

中小企業総合振興資金貸付金に関し、多額の減額が繰り返される理由と具体的な予算の計上方法、制度の見直しに向けた取り組み状況と今後の対応について。

予算編成に関し、最終補正において中小企業総合振興資金貸付金の多額の減額が毎年度行われていることに対する見解について。

中小企業総合振興資金貸付金に関し、予算計上に当たっての積算と毎年度多額の不用額が生じていることに対する認識について。

公共事業費等に関し、本年度予定していた事業が執行できなかった理由と次年度の事業実施体制について。

地域医療介護総合確保基金に関し、医療機関・介護施設等の整備に係る事業費減額の要因及び地域医療構想の進捗状況について。

ふるさと寄附基金に関し、ふるさと納税返礼品の品数増の効果及び今後の対応と寄附金の使途について。

公債費に関し、繰り上げ償還の考え方及び繰り上げ償還による将来の負担軽減の見込みについて。

地域医療介護総合確保基金に関し、2015年度から2017年度における事業費減額の理由、積極的な基金の活用に向けた今後の対応、医療及び介護人材の確保養成に向けた柔軟な基金の活用について。

中小企業総合振興資金貸付金に関し、小規模企業向け融資実績の前年度との比較及び利用拡大に向けた今後の対応について。

公共訓練費に関し、最近5年間における当初予算額と対象となる定員の推移及び委託訓練に係る十分な予算確保の必要性について。

苫小牧東部地域開発出資特別会計及び石狩湾新港地域開発出資特別会計に関し、一般会計から借入金が生じている要因に対する認識、開発の核となるプロジェクトの導入や企業誘致の取り組みの成果及び認識と今後の対応方針について。

などであります。

その後、直ちに付託議案について意見の調整を図りました結果、議案第99号、第101号、第104号及び第105号につきましては、意見の一致を見るに至らず、採決の結果、賛成者多数をもって原案可決、その他の案件、すなわち、議案第102号、第103号及び第106号ないし第114号につきましては、いずれも全会一致、原案可決と決定した次第であります。

以上、本委員会において先議いたしました議案審査の経過と結果を申し上げた次第であります。

なお、平成30年度各会計予算及びこれに関連する議案につきましては、速やかに審査を行い、後日、御報告申し上げたいと存じます。

以上をもちまして私の報告を終わります。（拍手）

○議長大谷亨君 保健福祉副委員長吉田祐樹君。

#### 1. 議案第115号に関する報告

○48番吉田祐樹君（登壇・拍手）私は、保健福祉委員会に付託されました議案のうち、議案第115号につきまして、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

議案第115号北海道国民健康保険広域化等支援基金条例を廃止する条例案は、国民健康保険法の改正に伴い、北海道国民健康保険広域化等支援基金を廃止することとするため、この条例を制定しようとするものでありまして、本日、委員会を開き審査を行った結果、全会一致、原案可決と決定した次第であります。

以上をもって私の報告を終わります。（拍手）

#### 1. 討 論

○議長大谷亨君 これより討論に入ります。

討論の通告がありますので、発言を許します。

宮川潤君。

○30番宮川潤君（登壇・拍手）（発言する者あり）私は、日本共産党道議団を代表して、議案第99号、第101号、第104号及び第105号に対する反対討論を行います。

議案第99号北海道知事等の給与等に関する条例の一部を改正する条例案は、知事及び特別職の期末手当を2017年6月にさかのぼって引き上げようとするものであります。

2017年賃金構造基本統計調査による道内労働者の「決まって支給する現金給与額」は、28万8000円で、全国平均より4万5000円も低く、雇用においても、非正規比率は、39.4%で、全国より2.2%以上高いなど、道民生活は、他県との比較でも厳しい実態が明らかになっています。

そのような中、知事及び特別職の期末手当をさかのぼって引き上げることに道民の理解を得られるとは到底思えません。

道職員給与の独自縮減措置は、現在も継続しています。そのさなかに、知事と特別職の期末手当を引き上げることは、道職員の理解も得られるとは思えません。

よって、議案第99号には反対をいたします。

議案第101号平成29年度——2017年度北海道一般会計補正予算についてです。

反対理由の第1は、中小企業総合振興資金貸付金が約217億円減額補正されていることです。

新規融資実績が伸びていないために減額補正するとしていますが、資金力に乏しい小規模企業に対しては、円滑な資金供給が求められています。地域経済の活性化に向けて、金融支援はなくてはならないものです。

中小企業総合振興資金のうち、小規模企業貸し付けの融資実績は、2626件、163億2300万円で、前年度比で94.4%となったことが、予算特別委員会における我が会派の質問で明らかになり、小規模企業への支援が十分に行われているとは言いがたいものであります。

道自身の取り組みも不十分な中で、予算の減額には反対であります。

反対理由の第2は、地域医療介護総合確保基金が減額されていることです。

地域医療介護総合確保基金は、2014年度に、消費税増税分を活用し、効率的で質の高い医療提供体制の構築と地域包括ケアシステムの構築を目指し、医療・介護従事者の確保や、在宅医療・介護の充実等に活用されるものです。

しかし、今年度の医療分は29億7000万円、介護分は16億1000万円も減額されております。道民の医療・介護要求に照らせば、現状は決して満足できる状況ではありません。

最も深刻な人材不足に対処するために、もっと柔軟な活用が求められていますが、施設整備の面でも、小規模施設である地域密着型の特別養護老人ホームを全道にくまなくつくることで、安心の老後を保障することができます。

老後も暮らしていける地域こそ、現役世代も安心して暮らせる地域だと言えます。この基金を十分活用して施設整備すべきであります。

2016年度末の基金残高は90億4000万円を超えているにもかかわらず、多額の事業費の減額を行うことは、地域の医療と介護の確保に逆行するものであります。

よって、議案第101号には反対です。

最後に、議案第104号平成29年度——2017年度北海道苫小牧東部地域開発出資特別会計補正予算、及び、第105号平成29年度——2017年度北海道石狩湾新港地域開発出資特別会計補正予算です。

一般会計からの借入金は、今年度だけでも、苫東で2億8000万円、石狩湾新港で1億3000万円を借り入れており、累積額は、苫東特会で77億円、石狩特会で22億円となっています。

今後、借入金を抑制する対策を十分に講じているとは言えず、道民負担をさらに拡大する議案には反対です。

以上をもって反対討論といたします。（拍手）（発言する者あり）

○議長大谷亨君 以上で通告の討論は終わりました。

これをもって討論を終結いたします。

日程第1のうち、議案第99号、第101号、第104号及び第105号を問題といたします。

これより採決いたします。



【平成30年3月9日（金曜日） 第8号】

この採決は起立によります。

本件に関する委員長報告は全て可決であります。

本件を委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長大谷亨君 起立多数であります。

よって、本件はそのように決定いたしました。

日程第1のうち、議案第102号、第103号及び第106号ないし第115号を問題といたします。

本件に関する委員長報告は全て可決であります。

お諮りいたします。

別に御発言もなければ、本件は、いずれも委員長報告のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長大谷亨君 御異議なしと認めます。

よって、本件は、いずれもそのように決定いたしました。

#### 1. 休会の決定

○議長大谷亨君 お諮りいたします。

各委員会付託議案等審査のため、3月12日から3月16日まで、及び、3月19日は本会議を休会することにいたしたいと思えます。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長大谷亨君 御異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

以上をもって本日の日程は終了いたしました。

3月20日の議事日程は当日御通知いたします。

本日は、これをもって散会いたします。

午後3時19分散会